

# トマトハモグリバエ (tomato leafminer)

*Liriomyza sativae*



トマトハモグリバエ雌成虫



インゲンマメ葉の幼虫食害と  
葉上に脱出した幼虫と蛹(赤色矢印)

## 発生生態

成虫は、2mm程度で体に黄と黒の部分がある小さなハエです。葉の中に産卵し、ふ化した幼虫が薄い葉の内部にもぐって線状に食害し、その跡が葉面に白く残ります。

多く発生すると葉の表面が真っ白になるほどひどく食害され、植物は衰弱し、収量が減ります。

## 防除対策

殺虫剤あるいは天敵寄生蜂の利用と黄色粘着ロール板による成虫の捕殺や0.6mm目合いの防虫ネットの展張による成虫の侵入防止などの物理的防除を組み合わせることで防除します。